

# 【入院患者さんの一日～脊髄障害～】

入院されている様々な障害の患者さんのリハビリの例をご紹介します。

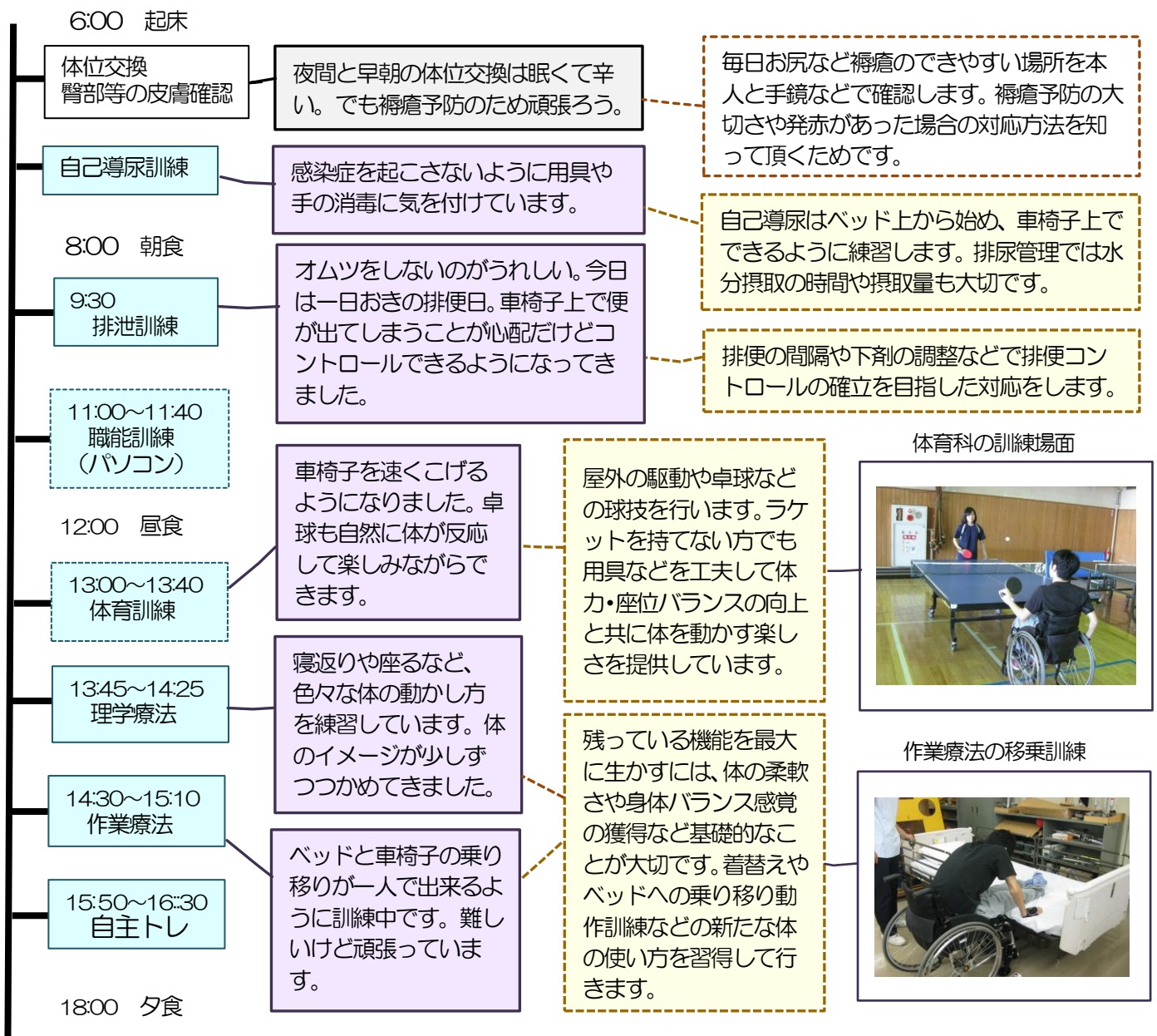
入院4か月目のBさん（頸髄の6番以下の四肢麻痺の状態を想定）の場合。

Bさんは、21歳男性、交通事故により頸髄を損傷しました。手足と体幹（腹筋や背筋など）が麻痺しています。体のバランス感覚などを獲得して、肘を曲げるなど腕の残った機能を上手く発揮できるための訓練や合併症の予防方法を学んでいます。自動車を運転や就職を目標にしています。（掲載写真は経銷遊具場の方の訓練風景）

## 日 課

(Bさんコメント)

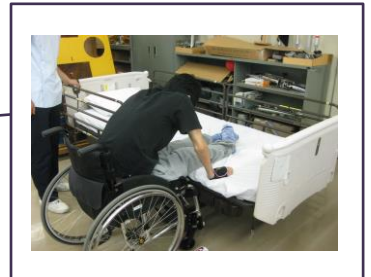
(スタッフコメント)



体育科の訓練場面



作業療法の移乗訓練



※訓練メニューは個々の状況に合わせて異なります。

排泄管理や褥瘡予防、起立性低血圧や体温調整などの自律神経症状への対応など脊髄障害のリハビリではセルフコントロールのための知識や技術の習得もとても大切なメニューになります。